

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	観光課	廣川 正
市民-05	重点事業	観光施設整備事業	■ 自治事務	主管課 観光課
	まち・ひと・しごと		□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
公衆トイレの修繕を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。
東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、訪日外国人の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備への補助事業を行った。
本覚寺公衆トイレの改修工事を行った。光則寺公衆トイレの洋式化を行った。鎌倉駅東口公衆トイレの洋式化等の修繕を行った。
民間が行う公衆トイレの整備に対する費用助成を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	66,425	95,264	当初予算(千円)	50,113		
	国県支出金	1,481	14,581	国県支出金			
	地方債	15,700	17,900	地方債			
	その他			その他			
	一般財源	49,244	62,783	一般財源	50,113		
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
事業経費運営	人件費(千円)	8,741	9,124	人件費(千円)	8,481		
	総事業費(千円)	75,166	104,388	総事業費(千円)	58,594		
	市民1人当りの経費(円)	426	592	市民1人当りの経費(円)	332		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 公益社団法人鎌倉風致保存会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	快適な観光受入れ環境を整えるため、屋内型Wi-Fi接続設備の促進支援を図るとともに、民間が行う公衆トイレの整備に対する費用助成を行う。
	事業内容・予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	観光客の利便性向上を図る屋内型Wi-Fi接続設備の設置を促進するため。老朽化した公衆トイレの修繕など施設整備にかかる経費が増大しているため。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	施設整備については、既存施設の耐久性を確認し、計画的な取り組みを進め長寿命化を図る。また、未整備地域においては、利用ニーズを見極め設置に向けた検討を図る。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	観光客の集中する地域のトイレの新設、改修、洋式化については、用地や財源の確保を検討する必要がある。また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」をより活用してもらうような周知啓発を行っていく必要がある。ハイキングコースについては、引き続き、落石や倒木などの危険箇所の把握と整備を実施していく。Wi-Fi環境整備事業は、屋内型Wi-Fiを中心として、Wi-Fi接続設備の拡大を図る必要がある。観光客等が多い場所などでマナーの周知、啓発に努めていく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	国の補助金を活用し、本覚寺に公衆トイレを設置した。 鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金が活用され、極楽寺駅前に公衆トイレが設置された。 ハイキングコースについては、適宜倒木・枯れ枝の処分や危険標識テープの貼り付けを行った。 Wi-Fi環境整備として屋内型Wi-Fi機器設置に対する補助を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、観光施設の整備を行うとともにハイキングコースの適切な管理を図る。Wi-Fi環境整備についても引き続き、設置に向けた取り組みを進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成29年度) 単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	20,424	16,480	3,028	7,655	6,115	8,210	977	6,311	51,431

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ数の観光客が訪れており、他市町村に比べ多いことが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成29年度 数値調査件数:511件 +18件 (WEB)		
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0			
	実績値	79.2	79.5	76.6	78.9	88.1				
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	92.8%	103.6%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--